

“県工連ニュース”とは長崎県工業連合会のさまざまなイベントや取組のお知らせなど会員の皆様向けの有益な情報を提供する不定期の情報ペーパーです。

セミナー・交流会を開催しました

9月12日(月)長崎市のホテルセントヒル長崎において、本年度第1回目となるセミナー・交流会を開催しました。今回は佐世保工業会による長崎工業会との交流事業に合わせて企画いたしました。両工業会会員のほか諫早工業会や熊本県、佐賀県の企業、支援会員を含めて70名の参加がありました。

セミナーは、熊本県工業連合会青年部(熊志会:ゆうしかい)の会長である大隈恵治様(オオクマ電子(株)代表取締役社長)を講師に迎え、「ドイツのIoT現場で学んだこと」とのテーマでご講演いただきました。講師ほか熊志会メンバーが昨年11月に訪欧調査されたドイツ・ミュンヘンのBMW工場や機械見本市の様子をご報告いただき、自社のビジネスで活かされていることなどのお話をいただきました。熱心なご講演の中で「IoT時代の製造業にますます必要なことは、お客様が求めるサービスを始点におくビジネスセンスである」とのお話が印象的でした。

セミナー終了後は、講師や県外から参加いただいた企業も含めて参加者による交流会を開催し、講演テーマだけでなく様々な意見交換を行って交流を深めていただきました。

なお、当日はセミナーに先立って佐世保工業会による長崎工業会との交流事業が開催され、参加者20名により長崎工業会の(株)久保工業、(株)協和機電工業への訪問、工場見学会が行われました。

連合会では、結成の大きな目的である県内企業間の地域を超えた交流・連携の促進、深化につながる各工業会の交流事業を応援していきます。

《 セミナー会場風景 》



長崎県工業連合会に結集する企業は平成28年9月現在で170社になりました。

さらに活動の輪を広げるため、未参加のお知り合い企業に勧誘のお声掛けをお願いします。

中村知事へ工業振興施策に関する提言を行いました

9月23日(金)県庁において、工業連合会として始めて中村知事に対して工業振興施策に関する提言を行いました。中村知事を始め古川産業労働部長、宇戸産業労働部次長、貞方企業振興課長が出席され、工業連合会の西会長が湯川副会長、粕谷副会長、前田副会長の同席のもと以下の6項目にわたる提言書を手渡したうえで、予定時間を超える意見交換を行いました。

1. 若年者の流出防止および定着促進について
2. 将来を担う人材の育成について
3. 新たな需要獲得の取組について
4. 企業の経営体質および競争力の強化について
5. 県内地域間連携の促進について
6. 県外との広域連携について



会長から、「若年者の流出については産業界からのアピール不足の点もあるが、求人を行っても新卒者が採用できない状況が続いており、次世代へ事業をつないでいくために若者の流出防止と人材確保に県と産業界が共に取組を強化すべき」との提言を行いました。

知事からは若年者の流出防止・県内定着は本県最大の課題であり、工業会が既にいろいろな取組を進め実績も出ていることへのお礼とともに、「少しでも長崎に残りたいと考える方がいればそれを止めていくための努力をしなければいけない、そのための施策をどう講じるのか相談していきたいのでよろしく」との話がありました。

また、「工業高校のクラス減について、単に子供の数が減るからというだけでなく、志願倍率も高いので産業界を目指す人たちの門戸を維持、拡大していただきたい」との意見に対して、知事からは「県内定着率が高くなればどんどん増やします」との話がありました。

県外交流会及び全体交流会のお知らせ

- I 福岡市機械金属工業会との交流及び企業視察ツアー(11月10日~11日:1泊2日)
8月に各工業会からご案内をしています。
まだ、申込がお済でない場合は 10月20日までに所属工業会の事務局へお申込ください。
- II 「わが社の自慢話」発表会と全体交流会
12月8日(木)の15時から佐世保市のJAさせぼホールにて、各工業会会員企業によるわが社の自慢話発表会と忘年交流会を行います。
内容詳細は追ってご連絡いたしますが、どうぞスケジュールの確保をお願いします。

「長崎県工業連合会」のホームページは近日公開に向け準備中ですが、規約、会員名簿、今年度の事業計画などは県のホームページにも掲載しておりますのでご覧ください。

※『長崎県工業連合会』で ください。

発行元：長崎県工業連合会事務局 (事務局長 神崎 修治)

〒850-0862 長崎市出島町 2-11 出島交流会館 7F

TEL/FAX : 095-822-2650 e-mail : kanzaki@pref.nagasaki.lg.jp